

第3学年1組 国語科学習指導案

指導者 川上 健治

1. 単元名 物語のしかけをさがそう
2. 教材名 ゆうすげ村の小さな旅館～ウサギのダイコン～
3. 単元目標

・ウサギダイコンがお話を面白くする大切な役割を担っているしかけであることを理解することができる。

【知識及び技能】

・つぼみさんの気持ちの変容を捉えたり、美月さんのウサギダイコンばかり料理した行動を基に、その意図を想像したりすることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

・物語のしかけが何かを考えながら、しかけのある物語を楽しみながら読もうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

4. 指導にあたって

本学級の児童は、1学期に学習した「はりねずみと金貨」、2学期に学習した「サーカスのライオン」や「モチモチの木」等で物語文を読む経験をしている。今までの経験から、徐々に叙述を基に登場人物の気持ちを推し量れるようになりつつある。また、物語の授業自体にも意欲的に取り組める児童が多い。ただ、図書室に行き行って借りる本と言えば漫画のイラストが入った本や図鑑などの種類が多く、いわゆる文庫本などを借りる児童はほとんどいない。このことから、自発的に読書をする児童も少なく、物語の楽しさやファンタジー作品の面白さを感じられていない児童が多いと考えられる。

そこで、本単元では、「物語のしかけをさがそう」という活動を設定した。この活動を行うことで、児童は作者が読者を楽しませるために作った様々なしかけを読み取ったり、探したりする読書をする上での新たな楽しさを感じることができると考える。また、何となく読むのではなく、「しかけ」に着目して読んでいくことで、より一層作者の意図を考えられ、それがひいては読書の楽しさにつながると考えた。その為に、「ゆうすげ村の小さな旅館」の教材を使い、学習を積み上げていかせたい。「ゆうすげ村の小さな旅館」の叙述には、つぼみさんや美月さんの行動や会話に気持ちが表れているため、人物の気持ちが想像しやすくなっている。また、人物や物の名前、様子を表す言葉などが物語のしかけのヒントとして描かれおり、それらを探すことを楽しめる教材でもある。

指導にあたっては、物語を自力で読み取るために、**①作品の設定②視点③文学特有の表現技法④中心人物の変化⑤主題**の5つの文学の論理的な読み方（西尾市立西野町小学校『文学授業のユニバーサルデザイン』2014.2.p19.東洋館出版社）の中から、本単元では、①作品の設定②視点④中心人物の変化を学習していく。（5. 指導計画に参照）

第一次では、初発の感想後、挿絵や語句の書かれたカードを分類しながら作品の設定を読み取り、大まかな内容を掴ませる。第二次では、それぞれの登場人物（つぼみさん、美月）の人物像や気持ちの変容を読み取っていく。この際は、イメージマップを使って人物像を整理したり、中心人物であるつぼみさんの気持ちの変化を図解したりしながら板書していく。また、単元中盤までは、物語のしかけに触れず、あらすじまでの内容把握を行う。その後、「しかけ」を盛り込みながら話を進めていく「おしりたんてい」の本を使用し、しかけについて理解させる。そして、本教材に施されているしかけを探し、再読していく。この過程を辿ることで、しかけがあることを意識していない時と、した時の「読む面白さ」の違いを児童は感じられるであろう。第三次では、第二次でしかけの学習をしたことを基に、「しかけを探そう」という活動を行う。第三次の1時間目で「ゆうすげ村の小さな旅館」に収録されているお話から教師が選定した「山のみんな」や「手紙」などしかけがある4冊の本を4人班の一人ひとりがどれかの本を一冊担当し、同じ本を担当した者同士グループを作り、読み込んでいく。2時間目以降には、選んだ本のあらすじとしかけ、面白さをグループで考える。そして、班に戻った時に責任をもって、その本のあらすじとしかけ、面白さを班のメンバーに伝える。一人で1冊担当することで、自分事として考え、また、自分

事として考えられるからこそ物語の面白さやファンタジー作品の面白さを味わわせられると考える。

本時では、「数ある仕掛けの中で特に重要な仕掛けはどれだろうか」という学習課題を設定する。まずは、前時で読み取った「美月がうさぎであることを表している仕掛け」を想起させる。その後、全員が、参加したくなるように「この話の中で一番重要なのはね…」と教師が掛け合いをしているビデオを見せ、「いや、私だったら、〇〇だ。」「いやいや、僕だったら〇〇だ。」と授業へ主体的に参加できるように意欲を高めさせる。そこから、本時の課題に繋がりたい。そして、この課題を解決するために、まず4つの選択肢まで絞り、そこから選択させ、立場を明確にさせる。これにより、国語が苦手な児童も、学習課題に対しての答えを考え、授業に参加できるようになると考える。また、読者目線から作者が仕掛けた仕掛けがどこに繋がっているかを探す楽しさを味わってほしいので「おしりたんてい」になって考えてみようと促すことで、よりワクワク感を引き出したい。次に、「なぜ、その選択肢を選んだのか」の理由を書かせる。そうすることで、多様な意見を引き出させられると考える。また、この際に、国語が苦手な児童に焦点を当てサポートを行うことで、学習課題に対しての考えがその子なりに明確になっていくであろう。

5. 指導計画（全13時間）

	学習の流れ	指導上の留意点
第一次 3h	1) 学習の見通しをもつ。 ・教師の範読を聞き、初発の感想を交流する。 2) 時・場所・人物をまとめる。 場面分けをする。 《作品の設定》 《視点》 3) 登場人物の人物像を考える。	・感想は「おもしろい・ふしぎ・おどろき」の3つの観点で書かせる。 ・場面を表す挿絵や語句カードを分類して大まかな内容を掴みやすくさせる。 ・場面分けは「時・場・人物」の3観点で行う。 ・人物像は、イメージマップを使い、想像を広げやすくさせる。
第二次 6h	4) つぼみさんの気持ちの変化を読み取る。 《中心人物の変化》 5) つぼみさんの気持ちが変わったきっかけを読み取る。 《中心人物の変化》 6) あらすじを書く。 7) 「仕掛け」について知る。本文から仕掛けが何かを考える。 8) 前時で考えた仕掛けを交流する。 9) 数ある仕掛けの中で特に重要だと思う仕掛けはどれかを考える。【本時】	・気持ちの変化を図解して視覚的に分かりやすくする。 ・前時の気持ちの変化を図解したことを基に、4つの選択肢からきっかけを考える。 ・書くことが困難な子には「マイナスの気持ちがあることをきっかけにプラスになるお話」という型を示し、書きやすくする。 ・慣れ親しみのある「おしりたんてい」の本を使用することで、仕掛けの面白さを実感させる。 ・前時で探した仕掛けを基に、立場を明確にしてから伝える。
第三次 4h	10・11) 4冊の本から1冊を選び、読む。 12) 班に戻ったときにどんな本かおすすめるための練習をする。 13) 班に戻り、本を紹介する。	・読む際は、『あらすじ・仕掛け・面白さ』を読み取ることに焦点を絞る。 ・班の友だちに読んでもらうには、どう伝えたらよいかをグループで考える。 ・意欲を高めるために、本を紹介した後に「どの本が読みたくなったかランキングをつける。」ということを伝える。

6. 本時の学習について

(1) 本時の目標

- ・数あるしかけの中から、この話の中で特に重要なしかけを選び、理由を明確にして書くことができる。

(2) 本時の展開 (9 / 13時)

学習活動と予想される児童の反応	予想されるつまずき	指導の工夫 ☆焦点化□視覚化△共有化
<p>1. 前時の振り返りをする。</p> <p><input type="checkbox"/>前時の振り返りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美月という言葉がうさぎに似ているからしかけだと思いました。 ・ウサギダイコンというダイコンの名前からうさぎだと分かります。 <p>2. めあてに対する自分の考えをもつ。</p> <p>め：どのしかけが一番重要？</p> <p><input type="checkbox"/>一人で考えましょう。</p> <p><input type="checkbox"/>グループトークをしましょう。</p> <p><input type="checkbox"/>全体で意見を言いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一番重要だと思うのは、美月という言葉です。美月の正体が一番分かりやすい言葉だからです。」 ・「一番重要だと思うのは、ウサギダイコンという言葉です。わけは、ウサギダイコンを食べることで耳がよくなると書いているからです。」 ・「一番重要だと思うのは、ウサギダイコンという言葉です。わけは、ウサギダイコンを食べることで耳がよくなり、自然の音をきけるようになったからです。」 <p>3. 本時のまとめをする。</p> <p><input type="checkbox"/>今日のまとめをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギダイコンが一番重要なしかけです。わけは、自然の素晴らしさを伝えているからです。 <p>4. 本時の振り返りをする。</p> <p><input type="checkbox"/>今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのおかげで、△△という意見が新しく分かりました。 ・〇〇さんのおかげで、自分の△△という意見もいいんだということが分かって安心することができました。 ・〇〇さんのおかげで、自分の△△という考えが間違っていて、〇〇という考えが良かったと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前時の活動を言語化できない。 ●前時の活動を抽象化した言葉で伝えられない。 ●何を書けばいいか一人の力では考えられない。 ●選択肢を選んだ後に、課題に対する自分の考えを文章化することが難しい。 ●書いたことに自信がもてない。 ●自分の表現する意見に自信がもてない。 ●「ウサギダイコンはウサギという名前が入っているから。」といった表面的な意見しか考えられず、深まりのある思考にならない。 ●自分の考えに執着し、意見を変えられない。 ●文章化することが難しい。 ●何を書いていいかわからない。 ●「〇〇さんのおかげで意見が増えました」というように△△の部分を具体的に書くことができない。 	<p>□前時のノートを見てもいいように伝える。</p> <p>△ペアでお互いに意見を伝えさせ、困っている子がいたらペアの子の発言を真似していいことを伝える。</p> <p>□△前時までの学習の足跡を参考にさせ、既習の学習を想起させる。</p> <p>☆選択肢を与えることで、全員を授業に参加させやすくする。</p> <p>☆「一番重要だと思うのは、〇〇という言葉です。わけは、△△だからです。」という型をしめすことで、書き出しやすくさせる。</p> <p>△個人→グループ→全体という流れで考え、発表させることで考えを表現する経験を積ませ、意見に自信をもたせる。</p> <p>△お尋ねタイムをとり、自問させる。</p> <p>△グループトーク時に、意見を変える時間を確保する。</p> <p>☆「〇〇が一番重要なしかけです。わけは、△△だからです。」という型をしめす。</p> <p>△早く書き終わった児童から発表させることで、何を書いていいのかわからない児童の参考にさせる。</p> <p>(評価)</p> <p>数あるしかけの中から、お話の中で一番重要なしかけを選び、理由を明確にして書くことができる。</p>